

## 日台の教育交流：修学旅行

【文部科学省：高等学校等における国際交流等の状況について（2004年～2013年）】

	日本→台湾		台湾→日本		上位5カ国・地域
2004年度 平成16年度	14位	1,108人 16校	13位 韓国 (1位)	2,484人 45校 5,435人 108校	①オーストラリア：33,970人 235校 ②韓国：27,797人 213校 ③アメリカ：23,327人 172校 ④中国：14,708人 102校 ⑤シンガポール：12,812人 97校
2006年度 平成18年度	11位	3,622人 33校	2位 韓国 (1位)	6,667人 140校 9,472人 173校	①オーストラリア：38,832人 266校 ②アメリカ：28,754人 227校 ③韓国：24,162人 193校 ④シンガポール：20,541人 137校 ⑤中国：16,147人 131校
2008年度 平成20年度	7位	8,024人 55校	2位 韓国 (1位)	7,320人 163校 8,910人 169校	①オーストラリア：29,662人 215校 ②アメリカ：26,752人 225校 ③韓国：26,306人 196校 ④シンガポール：2,4883人 162校 ⑤マレーシア：22,655人 131校
2011年度 平成23年度	6位	12,762人 78校	1位 韓国 (2位)	3,494人 101校 3,475人 138校	①アメリカ：26,576人 220校 ②オーストラリア：21,557人 148校 ③韓国：20,833人 167校 ④シンガポール：18,977人 139校 ⑤マレーシア：15,695人 109校
2013年度 平成25年度	3位	20,829人 140校	1位 韓国 (2位)	11,382人 310校 5,567人 193校	①アメリカ：35,168人 260校 ②シンガポール：23,571人 167校 ④マレーシア：20,614人 132校 ⑤オーストラリア：19,755人 149校 ⑥韓国：12,037人 112校

\*文部科学省は昭和61年（1986年）から隔年で調査。2000年は27カ国、2002年は25カ国、2004年は32カ国と表記して台湾を表示するも、2006年からは34カ国・地域と表記して台湾を表示。

\*民主党政権下の2011年度調査は東日本大震災の影響で2013年4月に発表。しかし、行き先国から台湾が消え「29カ国」と表記したことで台湾を中国に含めたことが発覚。再調査して同年9月に発表。

\*中国への修学旅行は、2000年（1位）が41,695人・213校、2002年（1位）が36,607人・201校、2004年（4位）が14,708人・102校、2006年（5位）が16,147人・131校、2008年（6位）が1,1963人・97校、2011年（7位）が9,312人・84校、2013年（12位）が1,626人・18校と激減。

\*韓国への修学旅行は、2000年（2位）が37,663人・241校、2002年（2位）が35,364人・231校、2004年（2位）が27,797人・213校、2006年（3位）が24,1627人・193校、2008年（3位）が26,306人・196校、2011年（3位）が20,833人・167校、2013年（6位）が12,037人・112校と急減。

\*日本の高校生総数は332万4,615人、高校数は6,789校（2014年）。2013年度に修学旅行を実施した高校生は16万8,668人（1,300校）。台湾の高校生総数は81万8,869人、高校数は503校（2014年）。

\*2014年5月22日、広島県教育委員会が桃園県教育局と教育協定を締結。2015年9月7日、徳島県教育委員会と新竹市教育処が教育交流協定を締結。